

## アール・ディエンジニアリング社の概要および許可状況等について

### 1. 概要

会社名：株式会社アール・ディエンジニアリング  
 所在地：滋賀県栗東市上砥山 292 番地 1  
 代表者：代表取締役 佐野 正  
 設立：昭和 55 年 1 月 21 日（佐野産業株式会社）  
 （平成元年 7 月 14 日 現社名に社名変更）  
 事業内容：解体工事業  
 産業廃棄物処理業（収集運搬、中間処理、最終処分） 等  
 資本金：4,000 万円  
 従業員：117 人（平成 8 年時）

### 2. 廃棄物処理法における許可状況

#### (1) 安定型最終処分

設置箇所：滋賀県栗東市小野 7 番地 1 外  
 許可品目：廃プラスチック類、ゴムくず、ガラス陶磁器くず、がれき類  
 施設の規模：（第1処分場） 面積 38,429.46 m<sup>2</sup> 容量 320,529m<sup>3</sup>  
 （第2処分場） 面積 10,111.47 m<sup>2</sup> 容量 80,659m<sup>3</sup>  
 計 面積 48,540.93 m<sup>2</sup> 容量 401,188m<sup>3</sup>  
 期 間：昭和 54 年 12 月 26 日～平成 10 年 5 月 27 日

#### (2) 焼却施設（2 基）

設置箇所：滋賀県栗東市小野 7 番地 1  
 許可品目：有機性汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、  
 繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス陶磁器くず、  
 がれき類  
 （特別管理産業廃棄物）汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性廃棄物  
 施設能力：木くず 14.4t/日、汚泥 8.1m<sup>3</sup>/日、廃油 6.0m<sup>3</sup>/日、廃酸 1.0m<sup>3</sup>/日、  
 廃アルカリ 1.0m<sup>3</sup>/日、廃プラスチック 9.0t/日、その他廃棄物 0.144t/日  
 木くず 4.8t/日  
 期 間：昭和 61 年 12 月 5 日～平成 12 年 1 月 25 日（県からの自粛要請）

#### (3) 乾燥施設（2 基）

設置箇所：滋賀県栗東市小野 7 番地 1  
 許可品目：無機性汚泥  
 施設能力：20.8m<sup>3</sup>/日 10.0m<sup>3</sup>/日  
 期 間：平成 3 年 9 月 7 日～平成 13 年 9 月 6 日

#### (4) 破碎施設（2 基）

設置箇所：滋賀県栗東市六地藏丸塚 70 番地 9  
 滋賀県栗東市小野 7 番地 1（移動式）  
 許可品目：ガラス陶磁器くず、がれき類  
 施設能力：1,200t/日 350t/日  
 期 間：昭和 59 年 10 月 30 日～平成 18 年 3 月 31 日

(5)収集運搬業

許可品目：燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス陶磁器くず、がれき類

(特別管理産業廃棄物)汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性廃棄物

期間：昭和 57 年 7 月 13 日～平成 18 年 3 月 1 日

3 . 最終処分場の状況

(1)浸透水

ヒ素、鉛、ホウ素、フッ素、総水銀、シス-1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、ダイオキシンが検出されている。

ヒ素、鉛、ホウ素、フッ素、総水銀、ダイオキシン類、CODは安定型処分場における浸透水の基準を超過している。

(2)地下水

Ks2層の地下水からは、シス-1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン等が環境基準を超過して検出されている。

処分場北西部の市 No.3 と市 No.7 は総水銀が検出されている。

(3)ガ ス

現在も廃棄物層内は高温な状態にあり、ガスが生成されている可能性がある。

(4)焼却灰

処分場内の 2 つの焼却炉は、炉内の壁などにはばいじんが残留している。

焼却炉は老朽化し、震災等による倒壊が懸念される。

(5)廃棄物

改善命令と掘削調査で確認された廃棄物は廃プラ、コンクリート片、陶磁器くず等など安定品目や木くず、金属くずなど品目以外のものも確認された。

溶出量はフッ素、ホウ素が土壌の環境基準を超過し、含有量は鉛、ダイオキシン類が土壌指定基準を超過した。

西側平坦地でドラム缶等の違法廃棄物を確認した。